

企業組織目標管理シート（重点目標）

問合せ先	事務局 総務係	025-386-9111
------	---------	--------------

年度	平成30年度
組織名	新潟東港地域水道用水供給企業団
組織の目的	水道用水供給事業の適切な運営とともに、効率的で透明性のある経営を推進し、受水団体に対し安全・安心な水の安定供給を継続的にを行い、信頼される水道を目指します。

当初予算（千円）		当初人員（人）		作成日	2018/4/1
【収入】	1,259,887	【正職員】	13	修正日	
【支出】	1,667,200	【その他】	30	評価日	2019/3/28

No.	重点	視点	目標	指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由等	評価	
				項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	1	受水団体	水道ビジョンを果たすためのマスタープランの実践を基本として企業団施設の維持管理・更新を適切かつ効果的に実施するとともに、施設の耐震化を推進し、事故・災害に強い水道を構築することにより、安定供給を図ります。	浄水場施設耐震化率 (%)	27.3	40.9	40.9	45.5	45.5	H29=9/22 H30=10/22	・監視制御装置更新工事 ・活性炭注入設備更新工事 ・二系浄水池躯体耐震化工事 ・新発田川水管橋補修工事 ・構内配管耐震補強施設設計業務委託	目標を達成しました。	3
				調整池施設耐震化率 (%)	23.1	30.8	30.8	30.8	30.8	H29=4/13 H30=4/13			
2	2	受水団体	水質検査結果の信頼性を確保するために水道水質検査優良規範(水道GLP)による検査技能の向上・安定に努めます。 水質異常対策計画等に基づきトリハロメタン及び農薬等を所定目標値内に管理します。	厚労省外部精度管理結果Zスコア±2以内 (目標達成率:100%)	67.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	・外部研修会参加と内部研修実施 ・水道GLP認証更新 ・検査精度向上に係る各種調査を実施 ・厚労省外部精度管理参加 ・水質異常対策計画等作成 ・トリハロメタン及び農薬等を所定目標値内に管理	目標を達成しました。	4
				トリハロメタン、農薬、臭気強度、カビ臭、非イオン界面活性剤等を管理 (目標達成率:100%)	83.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—			
3	3	財務	起債借入額を制限し、起債残高の著しい増加を抑制します。 事務事業の見直しと経費削減などの取り組みを進め、利益の安定確保につなげます。 施設の更新・耐震化事業に当たっては、既存の一般会計からの出資償還制度を最大限活用するなどして、財源の確保を図ります。	給水収益に対する企業債未償還残高の割合 (%)	198.8	197.5	183.7	189.5	170.9	—	・対象事業費の絞り込みと長期借入額の縮減	目標を達成しました。	3
				資金不足比率 (%)	△ 199.6	△ 202.5	△ 223.9	△ 200.0	△ 251.9	H32年度までの中期財政計画に基づく			
4	4	人材	水道用水供給事業に必要な知識や技術の取得・継承を目的に、外部研修機会の積極的活用並びに内部研修の充実を図ります。	外部研修時間（時間）	21.9	19.8	9.1	15.0	15.0	外部研修の積極活用	・若年者の資格取得等研修への積極参加 ・内部研修の継続	概ね目標を達成しました。	3
				内部研修時間（時間）	6.2	7.5	10.9	11.0	10.0	内部研修の充実			
5	5	業務	異常時の迅速な対応のため、危機管理を想定した訓練を実施します。 水道工事の建設副産物の再利用に努め、地球環境保全に配慮した水道事業運営を進めます。 給与会計等システムの安定稼働に努め、業務時間の短縮を図ります。	訓練実施回数(回)	0	0	0	1	1		・若年層職員対象の非常時対応訓練 ・マニュアルの作成及び職員の習熟	目標を達成しました。	3
				再生路盤材使用率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	—	再生クラッシャーラン砕石 RC-40			
				年間一人当たり時間外勤務数(総務係職員)	63.0	45.0	75.0	54.0	32.0	—			

取り組みについて（目標設定・ウェイト付けの考え方など）

- 水道ビジョンの実践のため、マスタープラン2011（2014見直し版）に基づく設備の更新や施設の耐震化を推進します。
- 安全な水道供給のための適正な維持管理を引き続き実践します。
- 安全、安心、安定な水道用水の供給を目的とする水安全計画を着実に実行するとともに異常時対応訓練を実施し、危機管理意識の醸成を図ります。
- 安定した事業の継続のために新規起債の制限と利益の確保に努めます。
- 事業の継続を趣旨として、外部研修への参加及び内部研修等の実施により人材の育成と技術の継承を図ります。

取り組みの結果について（評価を踏まえた課題分析・方向性など）

- 全体的には今年度の組織目標を達成することができました。
- 東港地域水道ビジョンを果たすため、マスタープラン2011（2014見直し版）に基づく更新・耐震化は着実に進めました。
- 安全、安心、安定供給については施設の適切な維持管理と運転管理を水安全計画を軸ととし、年間を通し安定した気候の後押しもあり、適切に実施出来ました。
- 将来の事業安定継続のため、起債残高の圧縮と利益計上による財源確保及び人事評価制度の活用と多様な職員研修により人材の育成を図り、技術継承も推し進めました。